

聖峰 seihou



加賀地区中学校体育大会 終了しました

6月14日・15日、21日・22日と2週にわたって加賀地区大会が行われました。3年生にとってはここで敗退すると最後の大会となります。激励会では、各部のキャプテンが決意を力強く述べてくれました。私が激励会で話したことは、「勝利の女神の判断基準」という話。将棋の米長邦雄名人いわく、①いかなる場面でも「自分が絶対正しい。」と思っははいけない。謙虚であること。②笑いがなくてはならない。この2つなんだそうです。ドイツのことわざに「Humor ist, wenn man trotzdem lacht. :ユーモアとは、にもかかわらず笑うことである。」どのような状況でも笑えること、笑える状況を作ることが大事なのだそうです。大会ではどうだったでしょうか。



『県大会出場、夢を追いかけて』

加賀地区大会を終え、県大会にコマを進めることができたのは以下の部活動・クラブです。

- ・男子ソフトテニス部
団体、個人（西山・松浦、菅本・新宅）
- ・男子バスケットボール部
- ・女子バスケットボール部
- ・体操競技クラブ（吉田、山下）
- ・加賀ジュニア(バドミントン)

組み合わせについては下記QRコードから

陸上部については、県大会を終えて、通信陸上に向けて練習を重ねています。県大会では果たせなかった夢に向かってチャレンジしています。

バスケット ソフトテニス 体操競技 バドミントン



野菜を育てています



生徒たちが精魂込めて育てている野菜。ミニトマト、ナス、枝豆、ピーマン、青じそ、赤じそ、バジルにメロン・・・自分が育ててみたい野菜をチョイスしました。来る日も来る日も丁寧に水やりをしている姿に、愛情を感じます。その「マイ野菜」の収穫もこれから楽しみです。

この体験をきっかけに、野菜作り（農業）に興味を持ってくれる生徒がいてくれるとありがたいと思います。食は大事です。コメ不足が深刻な今だからこそ、大切に育てる心を養ってほしいと思います。

～大切な命を守るために～

梅雨が明け、本格的な夏の訪れとともに、川や海など水辺で過ごす機会が増えてきます。この季節、週末のニュースで必ずといってよいほど報道されるのが児童生徒の水難事故です。今年もすでに、全国で多くの尊い命が失われています。

●「大人同伴」でも油断は禁物

多くの学校では、「川や海での遊泳は、保護者またはそれに準じた大人の引率のもとで行うこと」と定めています。しかし、たとえ大人と一緒に、たとえ慣れ親しんだ川や海であっても、水の脅威は突然襲ってきます。おぼれた子どもが命を落とすだけでなく、助けに入った大人まで犠牲になるという痛ましい事故が毎年のように起きています。

●想像力が命を守る

交通事故と同様に、「ヘルメットくらい、かぶっておけばいいや」といった軽い気持ちで、大きな事故を招くこともあります。事故を未然に防ぐには、「この行動をとったら、どうなるのだろうか」と、自分の行動の結果を予測する力＝想像力を働かせることが大切です。特に以下の3つの視点を意識することが、命を守る行動につながります。

- ・① 結果を予測する
- ・② 状況を理解する
- ・③ 最善の行動を選択する

こうした力は、日々の生活や家庭での会話の中でも少しずつ育むことができます。

●もうすぐ夏休みを迎えます

もうすぐ夏休み。楽しく、充実した日々を安全に過ごすために、生徒自身の心がけはもちろんのこと、ご家庭での声かけや見守りが何より大切です。水難事故をはじめ、不慮の事故やトラブルを防ぎ、すべての子どもたちが安心・安全な夏休みを送れるよう、学校とご家庭とで力を合わせて取り組んでまいりましょう。